

マニュアル②走行実績確認



目次

① 拠点の登録をする

- 事前準備（Cariotの設定、取引先インポート用のデータ作成、データローダのインストール）
- 拠点を、取引先としてインポート
- インポートした取引先データをエクスポートし、拠点の緯度・経度等の情報を取得
- 取得した情報をもとに拠点データを作成し、インポート

② 稼働率レポートを見る

③ 拠点に関する活動のレポートを作る

①拠点の登録をする

※拠点の数が少ない場合は「マニュアル①リアルタイム位置情報把握」の目次③を参照ください



■ 拠点の活用について—概要のご説明

拠点を登録することで、Cariot内に拠点に関する活動のデータが記録されます



- 到着
登録した拠点の円の中に入ると到着したことをCariot内に記録します。取得されるのは到着した拠点名と到着時間です。



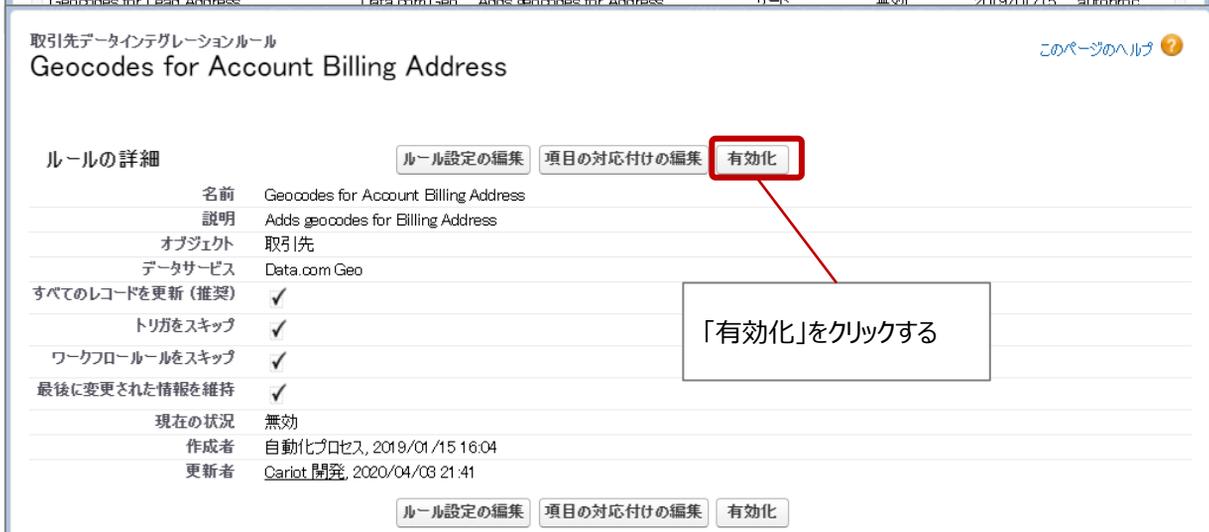
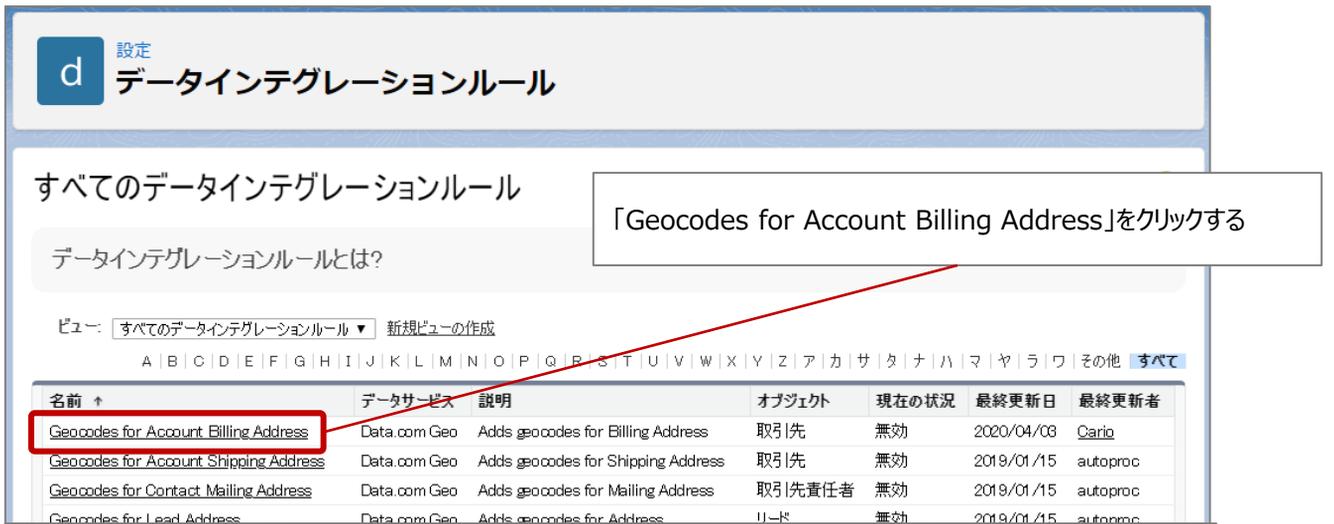
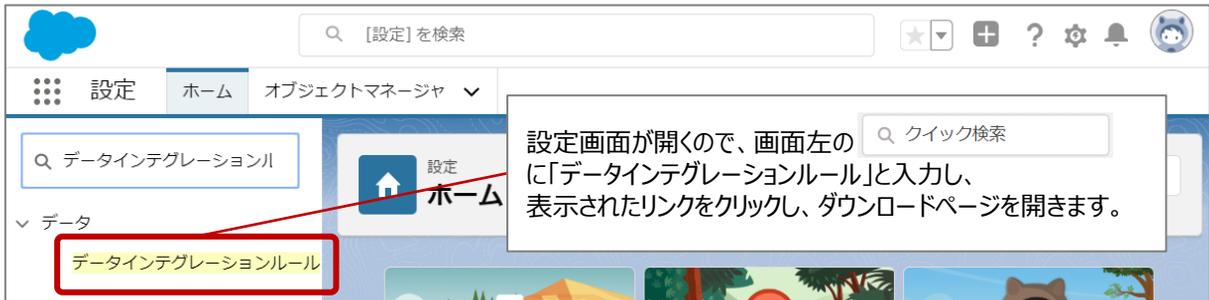
- 滞在
登録した拠点の円の中に入り、滞在したことをCariot内に記録します。取得されるのは滞在した拠点名と到着時間、出発時間、所要(滞在)時間です。
※滞在時間0分でも、円に入った場合は記録されます。



- 出発
登録した拠点の円から出ると出発したことをCariot内に記録します。取得されるのは出発した拠点名と出発時間です。

■ データインテグレーションルールを設定を行う

拠点の登録にはCariot内で緯度経度の取得が必要なため、この設定を行います



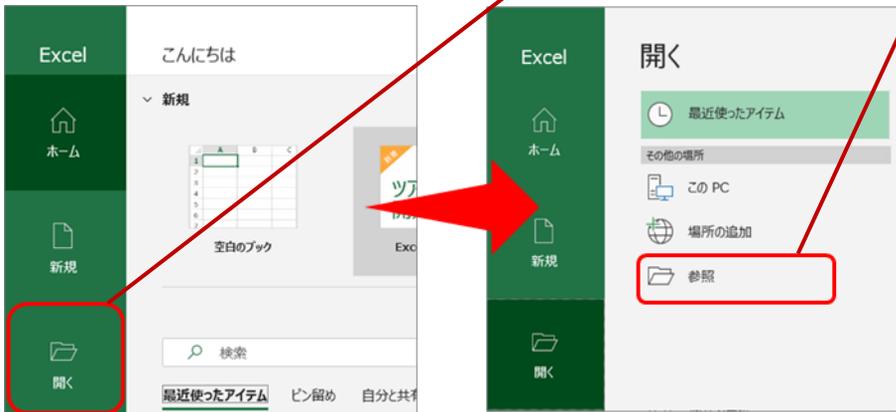
■ 取引先インポート用データの作成をする

Cariotに登録するためのデータを作成します。

CSVファイルを編集可能なツールをご用意ください。ここではMicrosoft Excelを使用します。

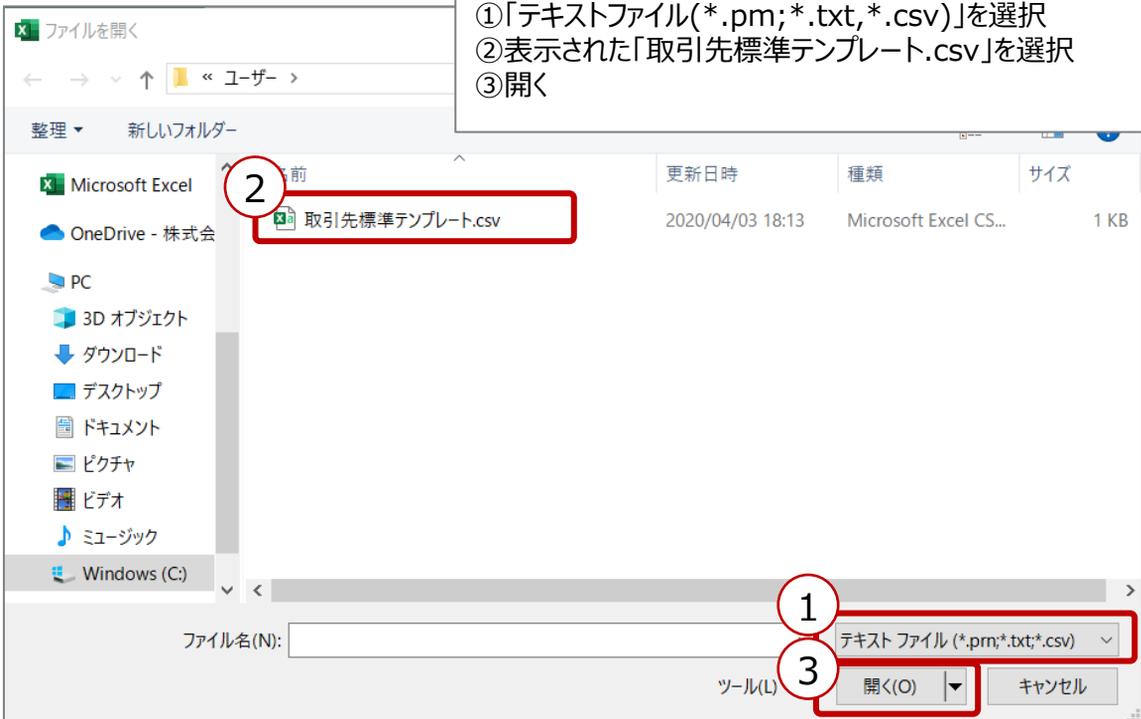
※あらかじめ、弊社からご提供する「取引先標準テンプレート.csv」「拠点標準テンプレート.csv」を保存しておいてください

Microsoft Excelを起動し、開く→参照の順に選択



右下の選択リストで

- ①「テキストファイル(*.pm;*.txt;*.csv)」を選択
- ②表示された「取引先標準テンプレート.csv」を選択
- ③開く



■ 取引先インポート用データの作成をする

キストファイルウィザードで「日本語(シフトJIS)」が
選択されていることを確認し、次へ

テキストファイルウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

- カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)
- スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(Q): 932 : 日本語 (シフト JIS)

先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル C:\¥Users¥miki.sakuno¥Desktop¥Cariot初期セット¥取引先標準テンプレート.csv のプレビュー

1	取引先名,郵便番号(請求先),都道府県(請求先),市区郡(請求先),町名・番地(請求先),国(請求先)
2	株式会社フレクト,104-0031,東京都,中央区,京橋2-13-10 京橋M10ビル 2F,JP
3	
4	
5	
6	

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

テキストファイルウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

- タブ(T)
- セミicolon(M)
- カンマ(C)
- スペース(S)
- その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(R)

文字列の引用符(Q): "

区切り文字「カンマ」にチェックを入れ、次へ

データのプレビュー(E)

取引先名	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)	国(請求先)
株式会社フレクト	104-0031	東京都	中央区	京橋2-13-10 京橋M10ビル 2F	JP

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

■ 取引先インポート用データの作成をする

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

G/標準(G)

文字列(I)

日付(D): YMD

削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

詳細(A)...

データのプレビュー(P)

G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準
取引先名	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)	国(請求先)
株式会社フレクト	104-0031	東京都	中央区	京橋2-13-10 京橋MIDビル 2F	JP

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > **完了(E)**

何も変更せずに「完了」

以下のようにCSVファイルが開きます。1行目は項目名です。
2行目にサンプルが入力されているので、サンプルを参考に登録するデータを作成します。
データが作成出来たら保存します。

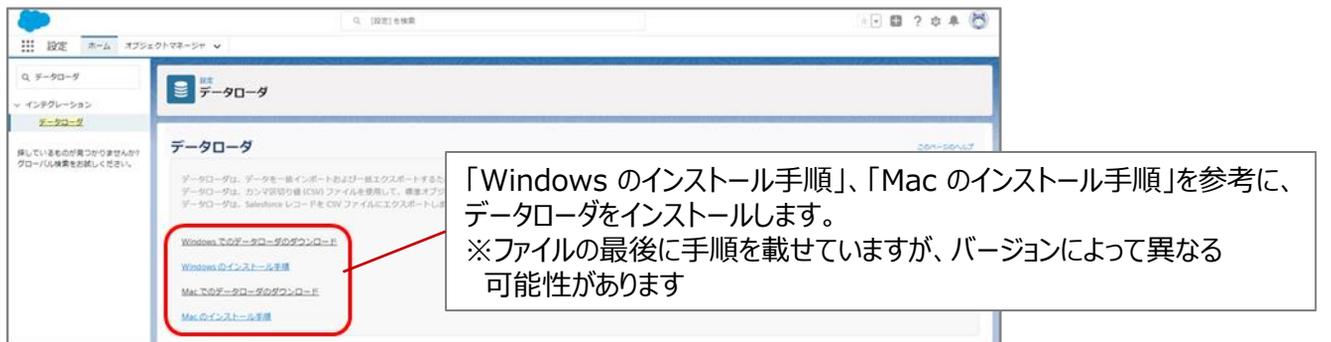
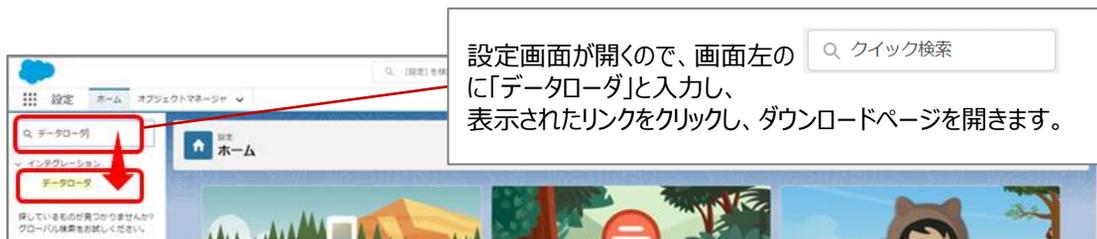
A1	A	B	C	D	E	F	G
取引先名	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)	国(請求先)		
株式会社フレクト	104-0031	東京都	中央区	京橋2-13-1JP			

■ 各列の値は以下の通りに設定してください。登録不要な列は空欄のままにしてください。

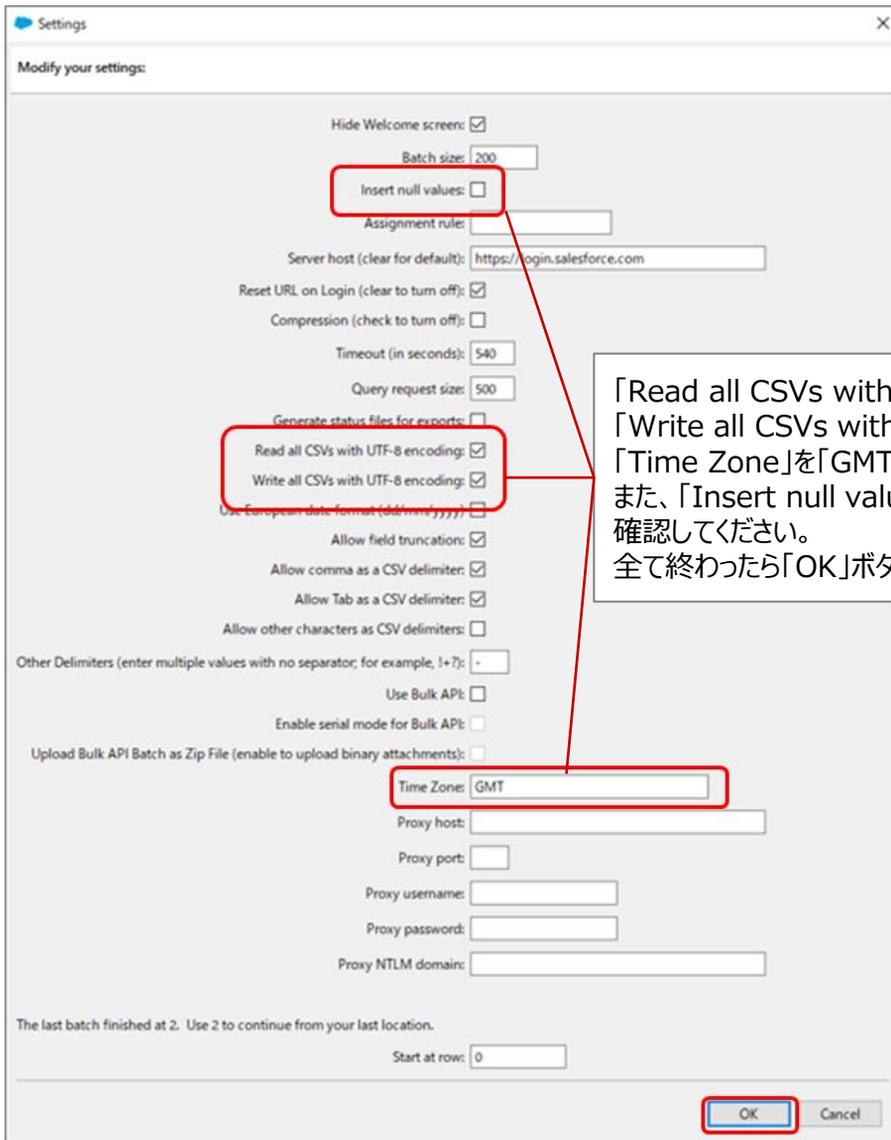
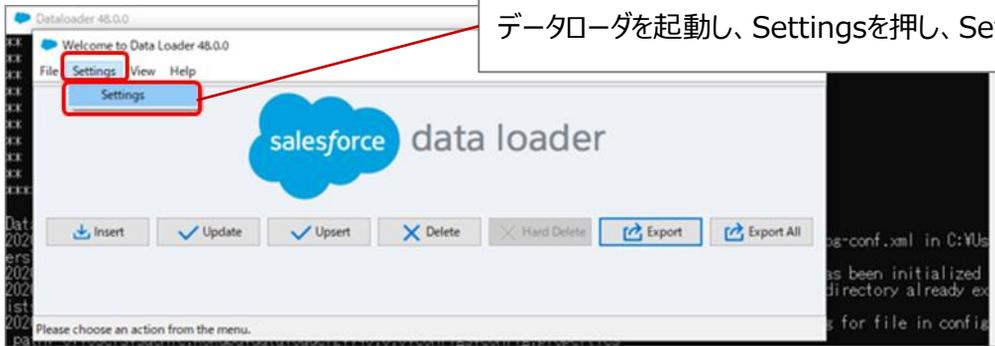
項目名	値説明
取引先名	各所に表示する取引先名です。必須項目です
郵便番号(請求先)	-(ハイフン)に入った郵便番号形式にしてください
都道府県(請求先)	
市区町村(請求先)	
町名・番地(請求先)	字、大字を含む場合は除いてください
国(請求先)	全てJAで統一してください。

■ データローダをインストールする

データの一括登録にデータローダというツールを使用するので、インストールを行います

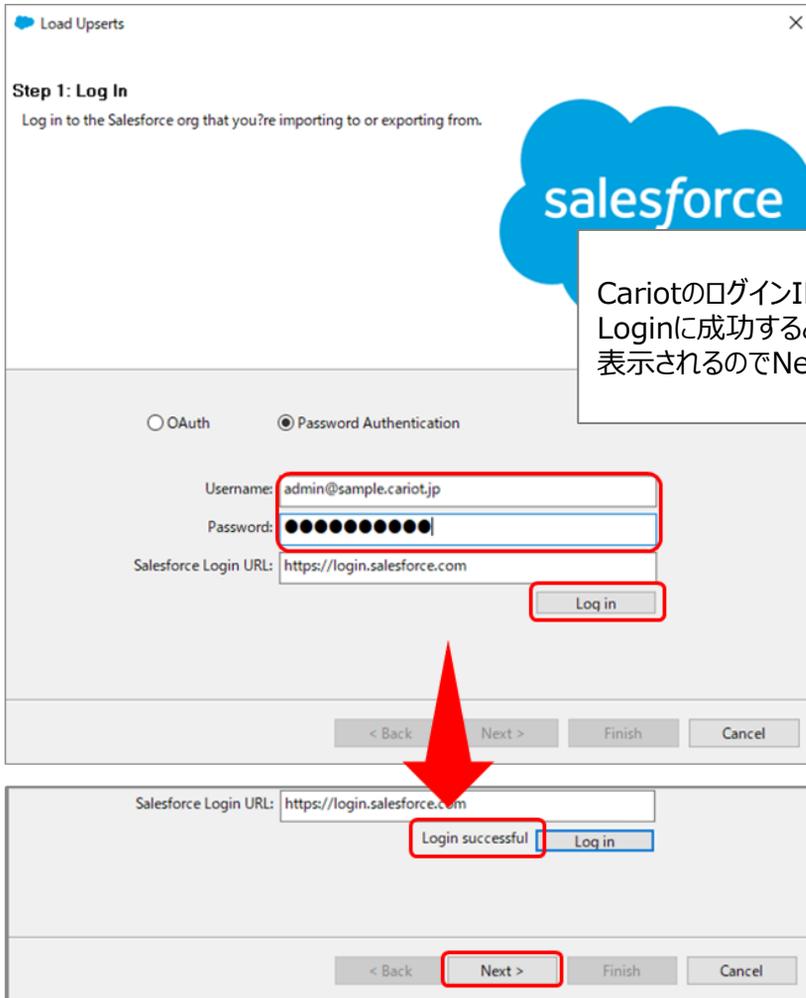
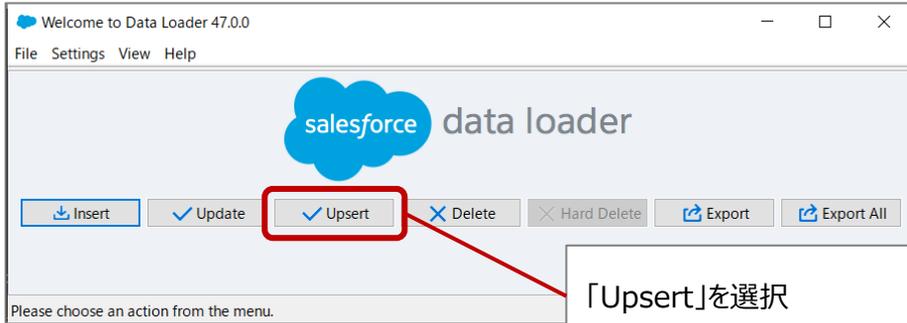


■ データローダを設定する

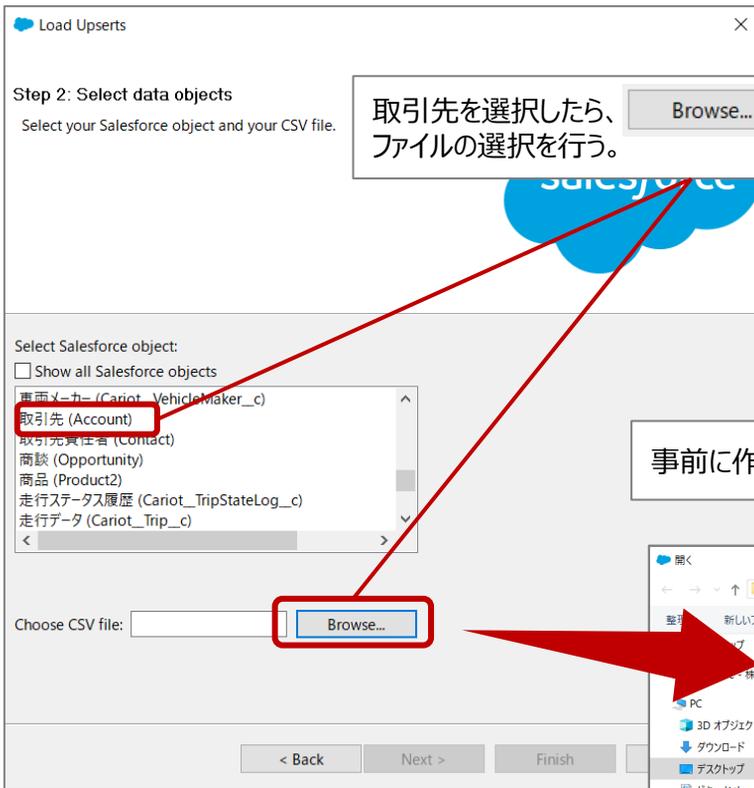


■ データローダでデータインポートを行う

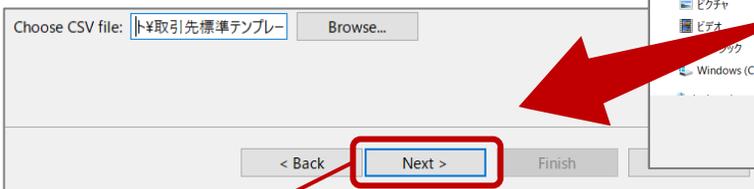
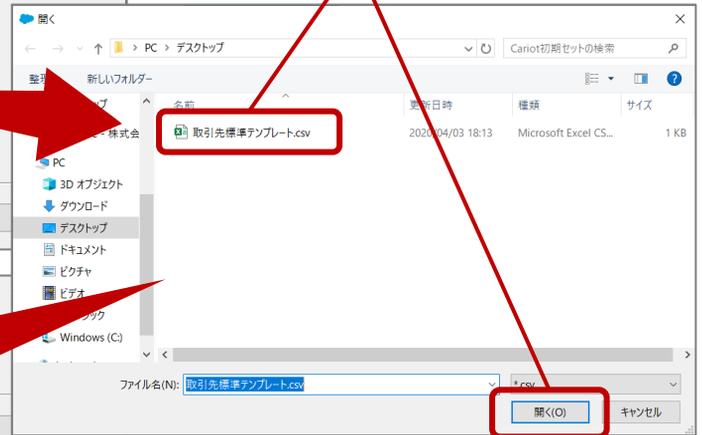
データローダにログインし、用意した登録用データのインポートを行います



■ データローダでデータインポートを行う



事前に作成した登録用CSVファイルを選択し、「開く」を押す

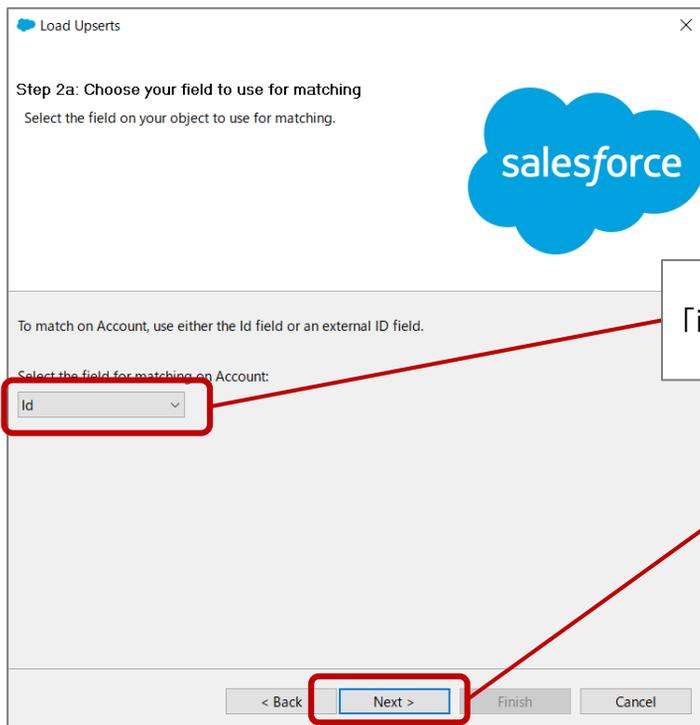


ファイルが選択されたら「Next」を押し、ファイルを読み込む。

CSVファイルの読み込みに成功した場合、以下のダイアログが表示されるので、「OK」を選択



■ データローダでデータインポートを行う



Load Upserts

Step 2a: Choose your field to use for matching
Select the field on your object to use for matching.

salesforce

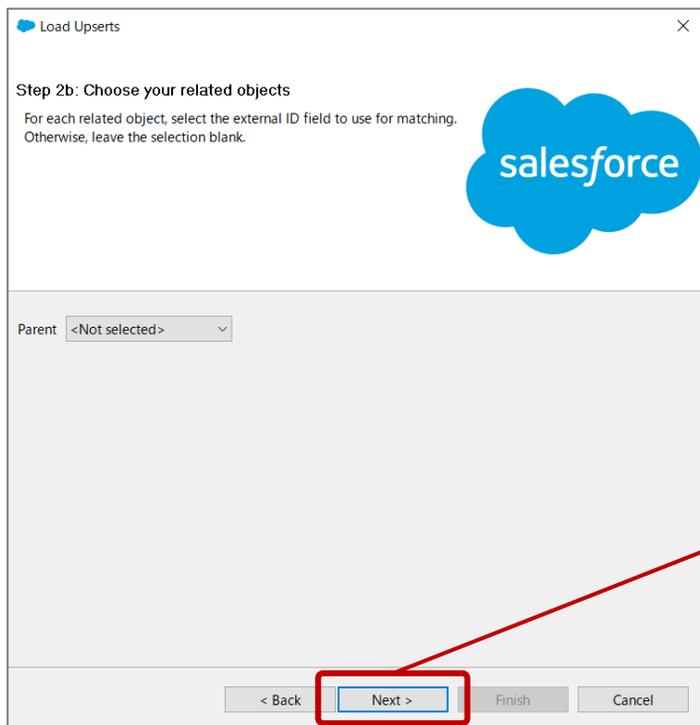
To match on Account, use either the Id field or an external ID field.

Select the field for matching on Account:

Id

< Back Next > Finish Cancel

「id」を選択し、「Next」ボタンを押す



Load Upserts

Step 2b: Choose your related objects
For each related object, select the external ID field to use for matching.
Otherwise, leave the selection blank.

salesforce

Parent <Not selected>

< Back Next > Finish Cancel

何も変更せずに「Next」

※注：Upsertを選んだ場合の画面遷移について

——一意の項目が登録済みデータと一致するかどうかで更新/新規登録を判断します。

ex) ID、ドライバー管理番号・・・など

■ データローダでデータインポートを行う

Load Upserts

Step 3: Mapping

Map your fields (CSV columns) to the Salesforce object.

Choose an Existing Map **Create or Edit a Map**

Current Field Mapping:

File Column Header	Name
市区部(請求先)	
国(請求先)	
町名・番地(請求先)	
郵便番号(請求先)	
都道府県(請求先)	
取引先名	

salesforce

「Create or Edit a Map」を選択

Mapping Dialog

Match the Salesforce fields to your columns.

Clear Mapping **Auto-Match Fields to Columns**

Name	Label	Type
AccountNumber	取引先番号	string
AccountSource	取引先ソース	picklist
Active__c	Active	picklist
AnnualRevenue	年間売上	currency
BillingGeocodeAccuracy	Billing Geocode Accuracy	picklist
BillingLatitude	緯度(請求先)	double

Drag the Salesforce fields down to the column mapping. To remove a mapping, select a row and click Delete.

File Column Header	Name
国(請求先)	BillingCountry
市区部(請求先)	BillingCity
取引先名	Name
町名・番地(請求先)	BillingStreet
都道府県(請求先)	BillingState
郵便番号(請求先)	BillingPostalCode

OK Save Mapping Cancel

「Auto-Match Fields to Columns」を押すとCSVの項目名とCarlotの項目名をマッチングし、更新対象の項目が自動で決まる

Load Upserts

Step 3: Mapping

Map your fields (CSV columns) to the Salesforce object.

Choose an Existing Map **Create or Edit a Map**

Current Field Mapping:

File Column Header	Name
市区部(請求先)	BillingCity
国(請求先)	BillingCountry
町名・番地(請求先)	BillingStreet
郵便番号(請求先)	BillingPostalCode
都道府県(請求先)	BillingState
取引先名	Name

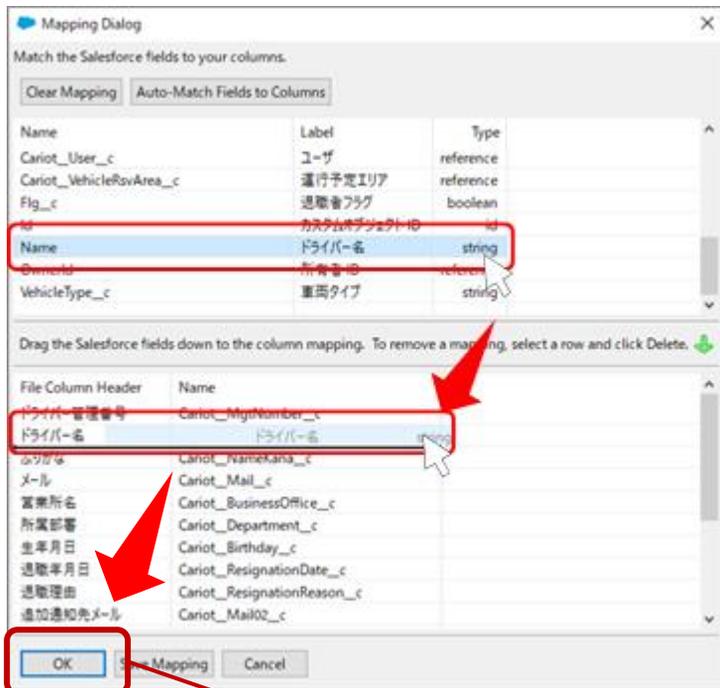
salesforce

すべてマッチングできたことを確認し、「Next」を選択

< Back Next > Finish Cancel

■ データローダでデータインポートを行う

※ マッチしない項目があった場合



自動でマッチングできない項目がある場合はドラッグ＆ドロップでマッチングする
全てマッチングできたらOKを選択

■ データローダでデータインポートを行う

Load Upserts

Step 4: Finish
Select the directory where your success and error files will be saved.

salesforce

Browse... を押して、ログファイルの保存場所を設定

Directory: [esample¥¥Documents¥dataloaderlog] Browse...

「Finish」を選択し、
確認ダイアログが出たら「はい」を選択

< Back Next > Finish Cancel

Warning

! You have chosen to add new records and/or update existing records. The action you are about to take cannot be undone. Are you sure you want to proceed?

はい(Y) いいえ(N)

登録開始

※件数によっては時間がかかる場合があります。

Operation Finished

The operation has fully completed. There were 2 successful upserts and 1 errors.

View Successes View Errors OK

更新が完了したらダイアログが表示されるので登録成功データとエラーデータの確認する
※右の例の場合、2件登録成功、1件エラーとなっています

Item Updated の場合は既存データの更新

CSV viewer

証有効期限 年月日	免許証番号	免許種類	入社年月	退職年月日	退職理由	STATUS
'3/24	1234567812345678	普通:大 2	1997/4/1			Item Updated
'8/31	0123456701234567	普通	2016/6/1			Item Created

To open the CSV in the associated external program such as Microsoft Excel, click the button below.
external program Open in external program

Item Created の場合は新規登録

CSV Viewer

年月日	退職年月日	退職理由
		ERROR
		Error converting value to correct data type: Failed to parse date: 1992/4/31

Microsoft Excel, click the button below.
external program Close

エラー原因
※この場合は存在しない日付（1992/4/31）を修正し再登録してください



■ インポートしたデータを確認する

Cariot

ホーム ドライバー 車両 デバイス さらに表示

取引先

アプリケーション
結果がありません

項目

取引先

取引先責任者

すべて表示

お知らせはありません。

ボード
です。

進行中 更新

Cariotにログインし、アプリケーションランチャーを開き、検索フォームへ「取引先」と入力し「取引先」を選択する

取引先

すべての取引先

新規 インポート 印刷用に表示

このリストを検索...

取引先名 ↑ 取引 都道府県 電話 種別 取引先 ...

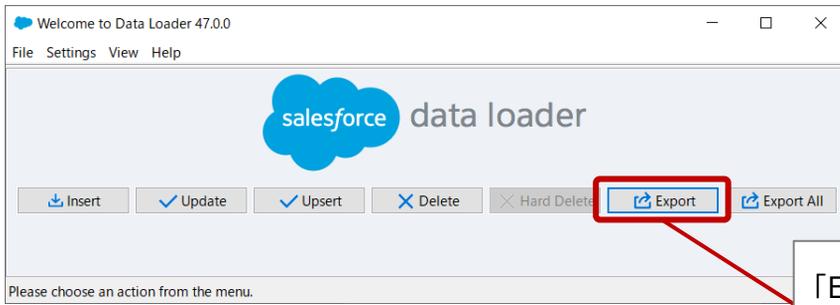
1	<input type="checkbox"/>	株式会社フレクト	東京都	Cario
---	--------------------------	----------	-----	-------

4個の項目 並び替え基準: 取引先名 検索条件: すべての取引先 数秒前に更新されました

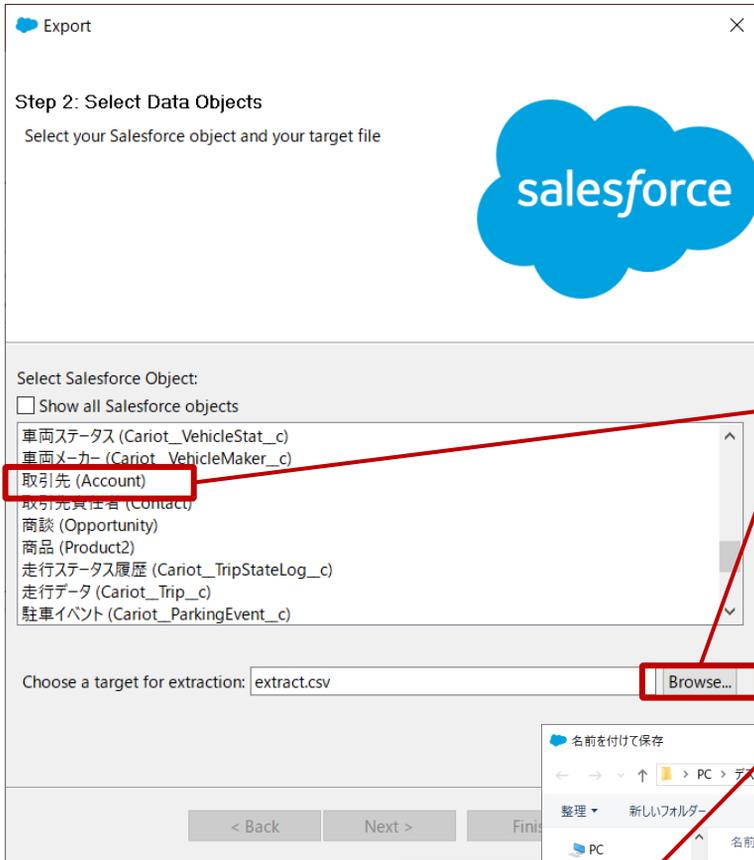
リストビューを「すべての取引先」に変更し、正しくデータ登録されているか確認する

■ 拠点インポート用のデータを作成する

取引先のデータをエクスポートし、拠点のインポートデータに作成に使用します

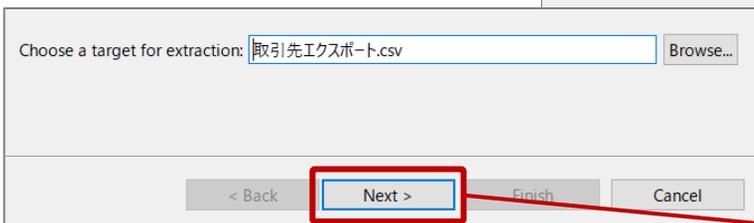
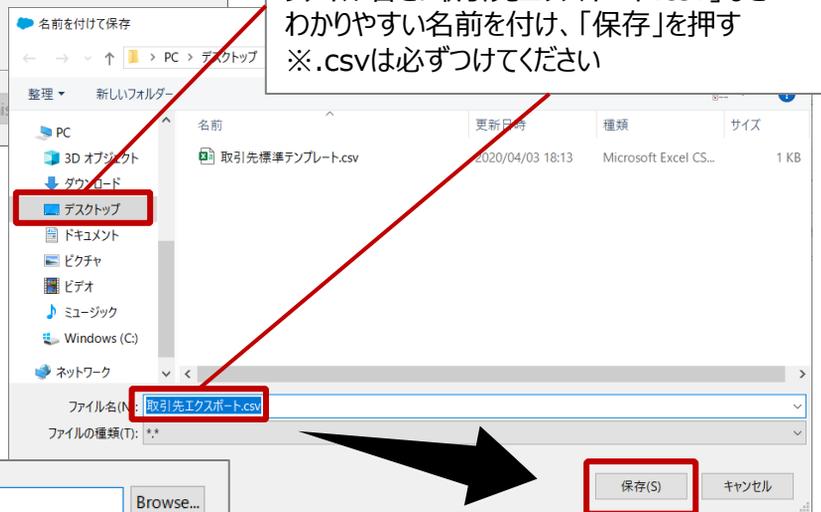


「Export」を押し、ログインが必要があれば ID、PWを入力してログインする



「取引先」を選択し、Browse... を押す

ファイルを保存したいフォルダを選択、
ファイル名を「取引先エクスポート.csv」など
わかりやすい名前を付け、「保存」を押す
※.csvは必ずつけてください



「Next」を押す



■ 拠点インポート用のデータを作成する

Export

Step 3: Edit your Query
Edit the SOQL query for extraction.



Choose the query fields below. Create the where clauses to your query below.

Fields	Operator
<input type="checkbox"/> NaicsDesc	
<input checked="" type="checkbox"/> Name	
<input type="checkbox"/> NumberOfEmpl	

Add condition

Select all fields Clear all fields

The generated query will appear below. You may edit it before finishing.

```
Select BillingLatitude, BillingLongitude, Id, Name FROM Account
```

< Back Next > Finish Cancel

「BillingLatitude」「BillingLongitude」「Id」「Name」の4項目を選択し、「Finish」を押します。

Warning

 You have chosen to perform an export. Click Yes to begin.
Do you want to proceed?

はい(Y) いいえ(N)

アラートがポップアップするので「はい」を押します

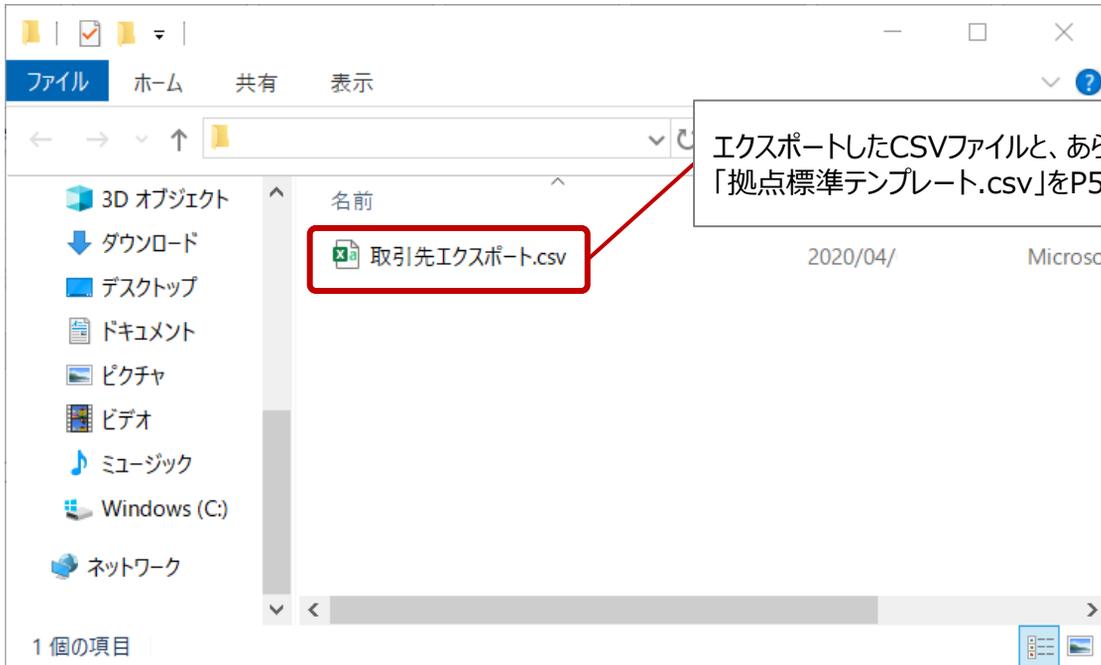
Operation Finished

The operation has fully completed. There were 4 successful extractions and 0 errors.

View Extraction OK

「OK」を押します

■ 拠点インポート用のデータを作成する



取引先 エクスポート

エクスポートした取引先データを拠点標準テンプレートの該当項目に
コピー＆ペーストする

	A	B	C	D
1	BILLINGLATITUDE	BILLINGLONGITUDE	ID	NAME
2	35.6*****	139.7*****	00128000	お客様B
3	35.6*****	139.7*****	0010I000	篠原倉庫
4	35.6*****	139.7*****	00128000	お客様A
5	35.6*****	139.7*****	00128000	お客様C
6	35.6*****	139.7*****	0010I000	株式会社フレコ

拠点標準 テンプレート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	取引先	ルート	場所 (Latitude)	場所 (Longitude)	活動の記録	活動の記録	活動の記録	目的地補正	エリア半径	Cariot__TypeLabel__c	拠点名	
2	0010o000	a060o000	35.6*****	139.7*****	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	200	目的地	お客様B	
3	0010o000	a060o000	35.6*****	139.7*****	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	200	目的地	篠原倉庫	
4	0010o000	a060o000	35.6*****	139.7*****	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	200	目的地	Cariot運輸本社	
5	0010o000	a060o000	35.6*****	139.7*****	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	200	目的地	お客様A	
6	0010o000	a060o000	35.6*****	139.7*****	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	200	目的地	お客様C	

■ 拠点インポート用のデータを作成する

※拠点標準テンプレートには以下の内容を入力してください

項目名	値説明
取引先名	取引先からエクスポートしたIDを入力します
ルート	紐付けたいルートのIDを入力します(下記図を参照)
場所 (Latitude)	エクスポートした取引先情報からコピーします
場所 (Longitude)	エクスポートした取引先情報からコピーします
活動の記録 (到着)	「TRUE」統一です
活動の記録 (出発)	「TRUE」統一です
活動の記録 (滞在)	「TRUE」統一です
目的地補正	「TRUE」統一です
エリア半径	円のサイズを指定します。デフォルトは200mですが、拠点同士が近い場合や拠点が広い場合は調整可能です。(最小半径50m)
Cariot__TypeLabel__c	「目的地」統一です
拠点名	取引先名と統一してください

ルートのIDは紐付けたい先のルート画面を開きURLの下記部分になるので、コピーして使用してください

The screenshot shows a web browser displaying the Cariot application. The address bar contains the URL: `carriot-readonly-demo03-dev-ed.lightning.force.com/lightning/r/Cariot_GeoRoute_da060o00001UrSitAA`. A red box highlights the ID `da060o00001UrSitAA`. The application interface includes a search bar with the text "ルートおよびその他を検索中...", a navigation menu with "ルート" selected, and a main content area showing route details for "東京営業所". The route details section includes a map and a table with one entry: "1 お客様B".



■ データローダでデータインポートを行う

作成した拠点のデータをデータローダでインポートします

Load Upserts

Step 2: Select data objects
Select your Salesforce object and your CSV file.

Select Salesforce object:

Show all Salesforce objects

- 運行 (Cariot_VehicleOperation_c)
- 運行予定 (Cariot_VehicleRsv_c)
- 価格表 (Pricebook2)
- 乗客予約設定 (Cariot_OptimeSetting_c)
- 拠点 (Cariot_GeoPoint_c)**
- 行動 (Event)
- 車両 (Cariot_Vehicle_c)
- 車両ごと走行データ月次集計 (Cariot_TripAggregatePerVehicleMonth_c)
- 車両のみ走行データ集計 (Cariot_TripAggregatePerVehicle_c)

Choose CSV file:

< Back Next > Finish Cancel

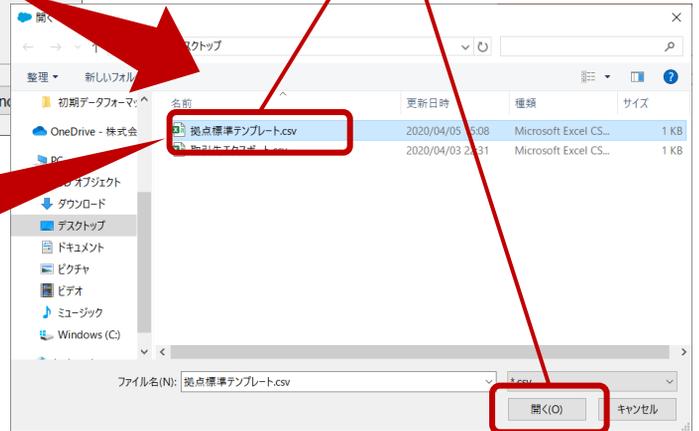
データローダで「Upsert」を選択しログイン後、拠点を選擇したら、 ボタンを押してファイルの選擇を行う。

事前に作成した拠点登録用CSVファイルを選択し、「開く」を押す

Choose CSV file:

< Back **Next >** Finish Cancel

ファイルが選擇されたら「Next」を押し、ファイルを読み込む。



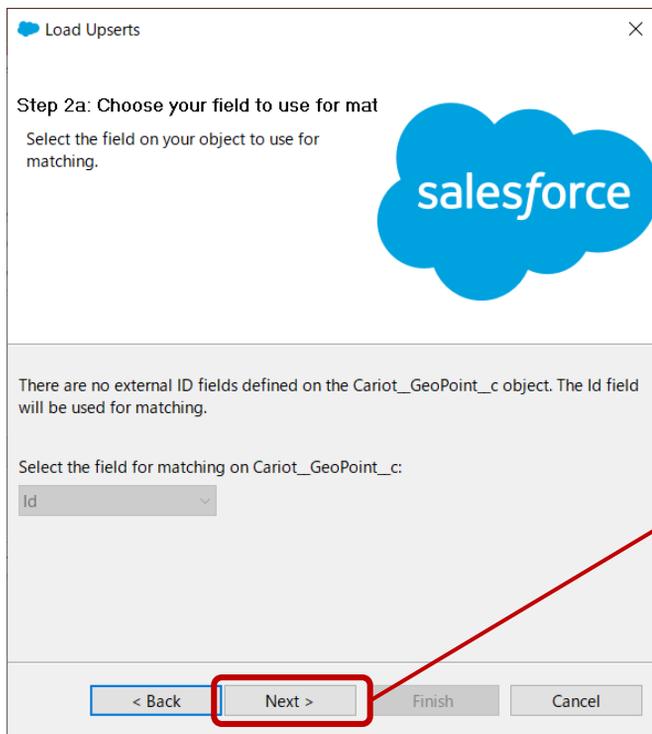
CSVファイルの読み込みに成功した場合、以下のダイアログが表示されるので、「OK」を選択

Data Selection

Initialization succeeded.
Your operation will contain 3 records.

OK

■ データローダでデータインポートを行う



Load Upserts

Step 2a: Choose your field to use for mat

Select the field on your object to use for matching.

salesforce

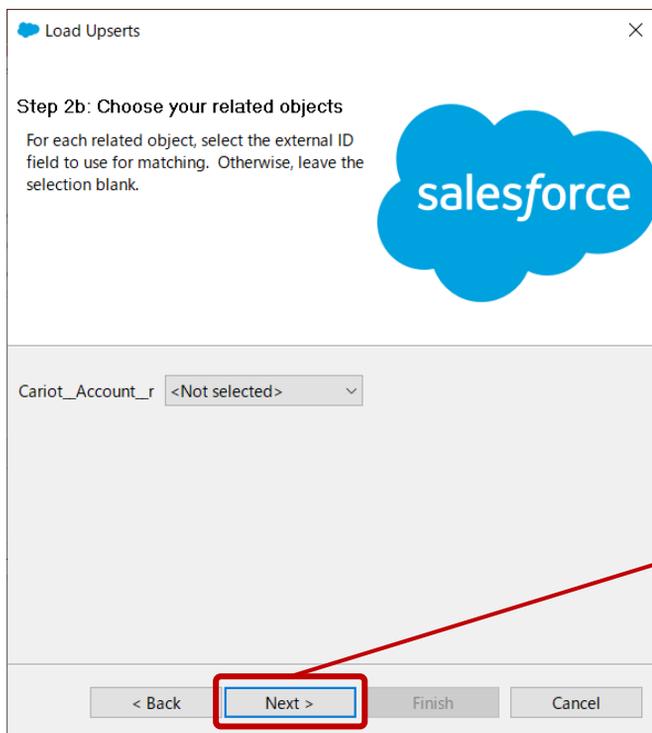
There are no external ID fields defined on the Cariot_GeoPoint_c object. The Id field will be used for matching.

Select the field for matching on Cariot_GeoPoint_c:

Id

< Back Next > Finish Cancel

なにも変更せずに「Next」ボタンを押す



Load Upserts

Step 2b: Choose your related objects

For each related object, select the external ID field to use for matching. Otherwise, leave the selection blank.

salesforce

Cariot_Account_r <Not selected>

< Back Next > Finish Cancel

何も変更せずに「Next」

■ データローダでデータインポートを行う

Load Upserts

Step 3: Mapping

Map your fields (CSV columns) to the Salesforce object.

salesforce

Choose an Existing Map **Create or Edit a Map**

Current Field Mapping:

File Column Header	Name
場所 (Longitude)	
場所 (Latitude)	
拠点名	
活動の記録 (滞在)	

< Back **Next >** Finish Cancel

「Create or Edit a Map」を選択

「Auto-Match Fields to Columns」を押すと CSVの項目名とCariotの項目名をマッチングし、更新対象の項目が自動で決まる

Mapping Dialog

Match the Salesforce fields to your columns

Clear Mapping **Auto-Match Fields to Columns**

Name	Label	Type
Cariot_ArriveWithin_c	到着予定判定時間	double
Cariot_GeoJson_c	拠点位置情報(GeoJSON)	textarea
Cariot_Goal_c	推定所要時間の取得	boolean
Cariot_IconColor_c	アイコンの色	string
Cariot_NextGeoPoint_c	次拠点	reference
Cariot_OnArriving_c	活動の記録 (到着予定)	boolean

Drag the Salesforce fields down to the column mapping. To remove a mapping, select a row and click Delete

File Column Header	Name
Cariot_TypeLabel_c	Cariot_TypeLabel_c
エリア半径	Cariot_Radius_c
ルート	Cariot_GeoRoute_c
活動の記録 (出発)	Cariot_OnLeave_c
活動の記録 (滞在)	Cariot_OnStay_c
活動の記録 (到着)	Cariot_OnEnter_c
拠点名	Name
取引先	Cariot_Account_c

OK Save Mapping Cancel

項目が全てマッチしたら「OK」を押して画面を閉じる
※ マッチしていない項目があったらP12を参照し マッチさせる

「Next」を押す

Load Upserts

Step 3: Mapping

Map your fields (CSV columns) to the Salesforce object.

salesforce

Choose an Existing Map **Create or Edit a Map**

Current Field Mapping:

File Column Header	Name
場所 (Longitude)	Cariot_Location_Longitude_s
場所 (Latitude)	Cariot_Location_Latitude_s
拠点名	Name
活動の記録 (滞在)	Cariot_OnStay_c

< Back **Next >** Finish Cancel

■ データローダでデータインポートを行う

Step 4: Finish
Select the directory where your success and error files will be saved.

salesforce

Browse... を押して、ログファイルの保存場所を設定

Directory: esample¥¥Documents¥dataloaderlog Browse...

「Finish」を選択し、
確認ダイアログが出たら「はい」を選択

はい(Y) いいえ(N)

登録開始

※件数によっては時間がかかる場合があります。

< Back Next > Finish Cancel

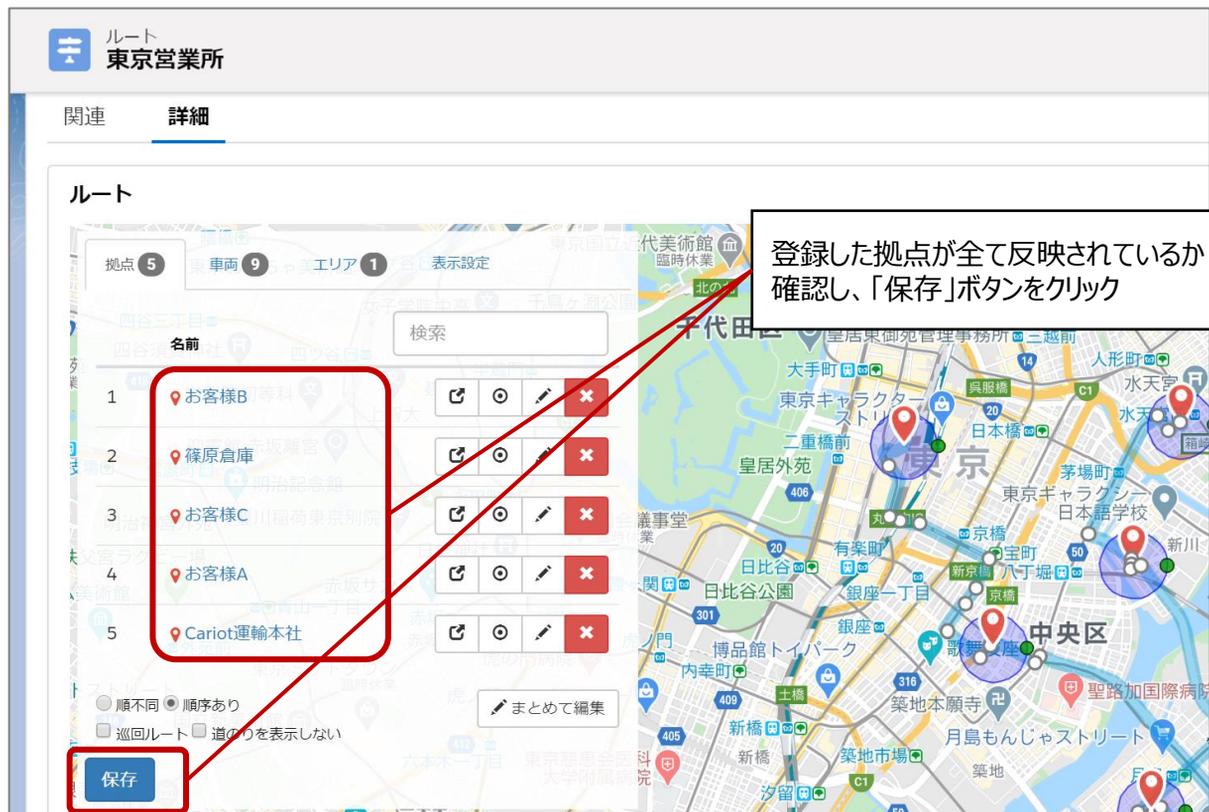
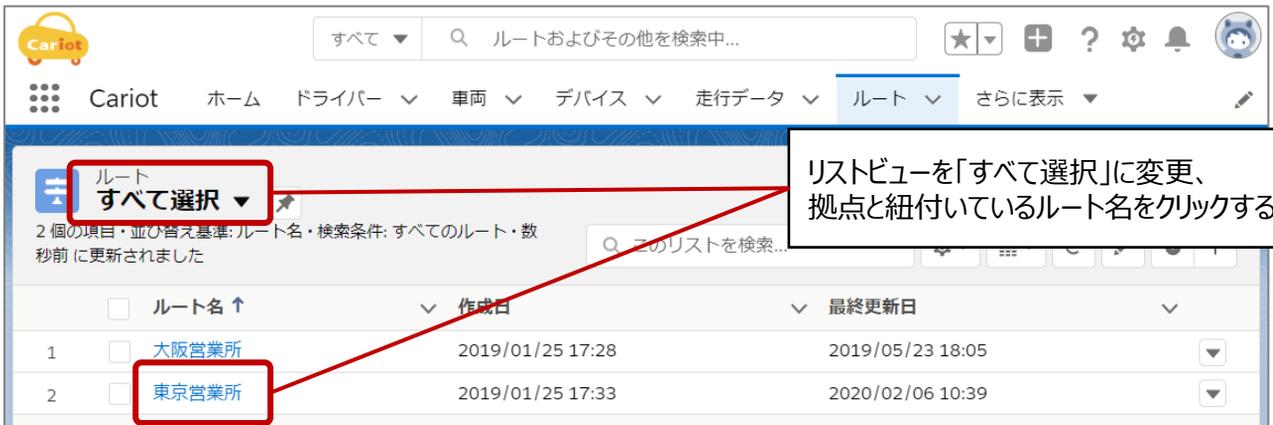
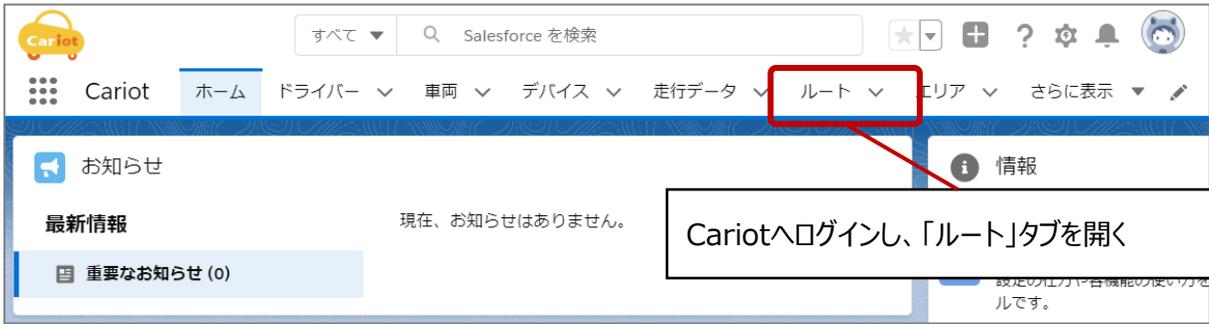
Operation Finished

The operation has fully completed. There were 5 successful upserts and 0 errors.

View Successes View Errors OK

更新が完了したらダイアログが表示されるのでOKを押して
終了する
※エラーが出ていた場合はP13を参照しエラー原因を確認する

■ データロードでデータインポートを行う



②稼働率レポートを見る

■稼働率レポートを確認しましょう

あらかじめ登録しているエリアの、車両の稼働率（※）を確認することができます

（※）1日を8時間とした時の走行時間の比率（％）

エリアタブを押します

「最近参照したデータ」を「すべて選択」に変更します

見たいエリア名をクリックします

エリア画面が開きます

「稼働率レポート」タブをクリックします

台数	表示期間	最大同時稼働台数	平均稼働台数	合計利用時間
10台	2020/03/27	3台 (30.0%)	1.9台 (19.0%)	44.0時間

車両名 ↑↓	稼働日数 ↑↓	稼働率 ↑↓	利用時間 ↑↓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
★東京 1号車	0日	0.0%																									
東京 ②	1日	183.1%	14時間39分																								
東京 3号車	1日	183.2%	14時間39分																								
東京 4号車	1日	183.2%	14時間39分																								

次ページに続きます

③レポートを確認、変更する

※拠点の滞在時間を見る場合はレポート名「P060_滞在記録_01」をご利用ください

※Cariot標準レポートの種類は巻末を参照ください

■ レポートを確認、変更する

急加速・急減速が起こった実績を確認するためにレポートを確認、変更します

レポートタブを開く

レポート

すべてのレポ...

37 個の項目

レポート	レポート名	説明	フォルダ
最近	P060_滞在記録		Cariot生産性向上レポート
自分が作成	P060_滞在記録_01		Cariot生産性向上レポート
非公開レポート	P070_アイドリング時間の記録		Cariot生産性向上レポート
公開レポート	P081_駐車記録		Cariot生産性向上レポート
	P090_平均燃費の推移		Cariot生産性向上レポート
すべてのレポート	P100_ドライバー毎の平均燃費		Cariot生産性向上レポート
	P110_車両ごとの月間走行距離		Cariot生産性向上レポート
フォルダ	P120_日別車両予約状況		Cariot生産性向上レポート

「すべてのレポート」をクリックし、レポートの一覧を表示する
利用したいレポートをクリックする

レポートが開きます

レポート: 車両ごと走行データ月次集計
P110_車両ごとの月間走行距離

編集

走行月 →	2020年3月	2020年4月
車両 ↑	合計 月間走行距離[km] 合計 アイドリング時間 (合計)	合計 月間走行距離[km] 合計 アイドリング時間 (合計)
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	19.0 19,363.17	2.4 9,468.03
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	27.9 20,092.08	78.0 15,413.25
<input type="checkbox"/> 京橋100 (6t)	20.5 18,311.28	8.6 753.37
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	20.5 19,364.20	2.7 9,469.18
<input type="checkbox"/> 京橋100 (6t)	19.1 18,304.90	6.5 753.10
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	18.7 19,366.40	2.8 9,453.38
<input type="checkbox"/> 京橋100 (6t)	20.9 19,181.58	2.3 7,906.05
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	29.2 20,078.93	78.0 15,411.63
<input type="checkbox"/> 京橋100 (4t)	28.2 20,133.68	77.4 15,362.35
<input type="checkbox"/> 京橋100 (6t)	22.8 19,179.57	12.2 7,906.68

編集したい場合は「編集」ボタンをクリックする

■ レポートを確認、変更する

急加速・急減速が起こった実績を確認するためにレポートを確認、変更します

Excelに例えると
「行をグループ化」「列をグループ化」は
ピボットテーブルの列と行に該当します

レポート ▼
P110_車両ごとの月間走行距離 車両ごと走行データ月次

フィードバックを送信 戻る 更新 グラフを追加 保存 & 実行 保存 閉じる

項目

三 アウトライン 検索条件

グループ

行をグループ化

グループを追加...

列をグループ化

グループを追加...

列

列を追加...

車両ごと走行データ月次集計: 車両: ×

月間走行距離[km] ×

アイドリング時間 (合計) ×

限定された数のレコードをプレビューしています。すべて表示するには、レポートを実行してください。

自動的にプレビューを更新

走行月 → 2020年1月

車両 ↑	合計 月間走行距離[km]	合計 アイドリング時間 (合計)
Cariot運輸 営業車01	0.1	2.80
Cariot運輸 営業車02	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車03	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車04	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車10	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車11	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車12	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車18	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車19	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車21	0.0	0.00
Cariot運輸 営業車22	0.0	0.00

「列」では集計したいデータを追加します
検索フォームへカーソルを合わせると
追加できる項目が表示されます
追加したい項目をクリックして追加します

行をグループ化

車両ごと走行データ月次集計: 情報

車両ごと走行データ月次集計: ID

デバイスOFFの時間[分]

運行実績登録回数

運行予定登録回数

稼働可能時間[分]

稼働台数[01日]

稼働台数[02日]

稼働台数[03日]

稼働台数[04日]

稼働台数[05日]

稼働台数[06日]

稼働台数[07日]

稼働台数[08日]

稼働台数[09日]

稼働台数[10日]

稼働台数[11日]

稼働台数[12日]

稼働台数[13日]

稼働台数[14日]

稼働台数[15日]

稼働台数[16日]

稼働台数[17日]

稼働台数[18日]

稼働台数[19日]

稼働台数[20日]

稼働台数[21日]

稼働台数[22日]

稼働台数[23日]

稼働台数[24日]

稼働台数[25日]

稼働台数[26日]

稼働台数[27日]

稼働台数[28日]

稼働台数[29日]

稼働台数[30日]

稼働台数[合計]

列を追加...

車両ごと走行データ月次集計: 車両: ×

月間走行距離[km] ×

アイドリング時間 (合計) ×

■ レポートを確認、変更する

急加速・急減速が起こった実績を確認するためにレポートを確認、変更します

タブを「検索条件」に変更することで、絞り込み条件を設定できます
Excelでいうとピボットテーブル「フィルター」になります

ex) 日付の絞り込み
先月、今月などで
絞り込みをかけられます

ex) 検索フォームにカーソルを合わせると
絞り込みをかけられる項目が表示されます

ex) 車両で絞り込みたい場合、演算子を「次の文字列を含む」などを選択し、
絞り込みたい文字列を入力し、「適用」ボタンを押します

■ レポートを確認、変更する

急加速・急減速が起こった実績を確認するためにレポートを確認、変更します

レポート ▼
P110_車両ごとの月間走行距離

車両ごとと走行データ月次

フィードバックを送信

グラフを追加

保存 & 実行

保存 ▼

閉じる

項目

アウトライン

検索条件 2

限定された数のレコードをプレビューしています。すべて表示するには、レポートを実行してください。

自動的にプレビューを更新

条件

検索条件を追加...

表示

すべての車両ごとと走行データ月次集計

走行月

先月 (2020/03/01 - 2020/03/31)

車両

次の文字列を含む車両

走行月 →	2020年3月		
車両 ↑	合計 月間走行距離[km]	合計 アイドリング時間 (合計)	
HDL900試験車両	0.0	0.00	
iPhone XR車両	0.0	0.00	
Pixel 3a車両	0.0	0.00	
スマホ車両	0.0	0.00	
テスト車両	0.0	0.00	
ルート運搬車両(黒川)	0.0	0.00	
故障確認用車両			
佐伯さん車両			

「保存 & 実行」ボタンをクリックするとレポート作成が完了します



レポート: 車両ごとと走行データ月次集計
P110_車両ごとの月間走行距離

グラフを追加

編集 ▼

走行月 →	2020年2月	2020年3月		
車両 ↑	台数	合計 アイドリング時間 (合計)	合計 月間走行距離[km]	合計 アイドリング時間 (合計)
京橋100 (4t)	7	12,886.02	19.0	19,363.17
京橋100 (4t)	1	12,900.08	27.9	20,092.08
京橋100 (6t)	5	12,891.83	20.5	18,311.28
京橋100 (4t)	5	12,884.60	20.5	19,364.20
京橋100 (6t)	5	12,882.35	19.1	18,304.90
京橋100 (4t)	6	12,885.77	18.7	19,366.40
京橋100 (6t)	7	12,888.33	20.9	19,181.58
京橋100 (4t)	5	12,901.55	29.2	20,078.93
京橋100 (4t)	6	12,886.95	28.2	20,133.68
京橋100 (6t)	9	12,882.70	22.8	19,179.57

■参考) レポートをエクスポートする

レポートの右上「▼」ボタンを押す

レポート: 車両ごと走行データ月次集計
P110_車両ごとの月間走行距離

グラフを追加

編集 ▼

走行月 →	2020年2月	2020年3月
合計 アイドリング時間 (合計)	合計 月間走行距離[km]	合計 ア
京橋100 (4t)	12,886.02	19.0
京橋100 (4t)	12,900.08	27.9
京橋100 (6t)	12,891.83	20.5
京橋100 (4t)	12,884.60	20.5
京橋100 (6t)	12,882.35	19.1
京橋100 (4t)		18.7

メニューが表示されたら「エクスポート」をクリックする

- 編集 (Salesforce Classic)
- 別名で保存
- 保存
- 登録
- エクスポート
- 削除
- ダッシュボードに追加

エクスポート

エクスポートビュー

フォーマット済みレポート

レポートヘッダー、グルーピング、検索条件の詳細を含め、Salesforce で表示されるおりにレポートをエクスポートします。

形式

Excel 形式 (.xlsx)

キャンセル エクスポート

ポップアップが表示されたら「フォーマット済みレポート」が選択されていることを確認する

「エクスポート」ボタンを押すとエクスポートが完了する

※Cariot標準レポートの説明

Cariotでは、以下4つの目的に応じたレポートをご用意しております。

- コンプライアンス強化
- 安全性向上
- 見える化
- 生産性向上

レポートとは・・・

Cariotに蓄積したデータを、指定した形式で表示したり、業務に合わせた条件で抽出・集計・分析することができます。

また、グラフを追加することでデータを視覚的に表示することもできます。

データは、更新することで最新のデータを反映します。

詳細は、次ページ以降の一覧をご覧ください。

■ Cariot標準レポートの説明

フォルダ	名前	説明
Cariotコンプライアンス強化レポート	C020_保管場所に戻ってこなかった車両レポート (過去60日間)	1日の最後にエンジン停止した場所が車両の保管場所から半径500m以上の場合に保管場所に戻ってこなかったと判断して集計したレポートです。車両の「保管場所」項目に保管場所住所が紐付けられている場合に利用できます。
	C040_免許証の有効期限が近いドライバー (翌90日以内)	免許証の有効期限が90日以内のドライバーを確認できるレポートです。ドライバーの「免許証有効期限 年月日」項目に日付が入力されている場合に利用できます。
	C060_日別ドライバー運転時間 (今月)	今月のドライバー毎の日別運転時間を集計したレポートです。前日までのデータが集計されています。
	C070_車両利用報告書 (ドライバー毎)	走行データを元にドライバー毎で走行実績をまとめたレポートです。今日分の走行中データも含まれます。
	C080_車両利用報告書 (車両毎)	走行データを元に車両毎で走行実績をまとめたレポートです。今日分の走行中データも含まれます。
	C000_車両管理台帳_01	車両に登録されているデータを一覧で見ることができるレポートです。
	C010_車検が近い車両 (今月または来月)	今月または来月に車検満了日を迎える車検の一覧を見ることができるレポートです。車両の「車検満了日」項目に日付が入力されている場合に利用できます。
	C030_免許証が有効期限切れのドライバー	免許証の有効期限が過ぎているドライバーを確認できるレポートです。ドライバーの「免許証有効期限 年月日」項目に日付が入力されている場合に利用できます。
	C000_車両管理台帳	車両に登録されているデータを一覧で見ることができるレポートです。「C000_車両管理台帳_01」との違いは「累積走行距離[km]」の列が無い点のみです。
	C090_速度超過回数 (ドライバー毎)	今月または先月に105km/h以上の速度が出た走行データの数をドライバー毎に集計したレポートです。レポートの編集画面から検出する速度を変更することが可能です。なお、速度超過の回数ではなく、指定した速度を超えた走行データの数となりますのでご注意ください。
	C050_拠点内速度超過	登録した拠点の中で速度超過をした走行を集計したレポートです。拠点の登録、拠点の設定で「拠点内の制限速度」を設定している場合に利用できます。
C100_速度超過回数が多いドライバー	過去90日以内に105km/hよりも速度が出た走行データの数をドライバー毎に集計したレポートです。レポートの編集画面から検出する速度を変更することが可能です。なお、速度超過の回数ではなく、指定した速度を超えた走行データの数となりますのでご注意ください。	

■ Cariot標準レポートの説明

フォルダ	名前	説明
Cariot安全性向上レポート	S030_危険運転動画	ドライブレコーダーで録画した危険運転のCariot上で見れる動画を一覧にしたレポートです。高危険度0.6G以上の場合に動画がCariot上へ取得されます。
	S010_危険運転数（すべて）	速度超過の走行データ数、急加速・急減速の回数を集計したレポートです。速度超過は走行データ数、急加速・急減速は回数となります。
	S000_ドライバー別危険運転（急加速・急減速・速度超過）	速度超過の走行データ数、急加速・急減速の回数をドライバー毎に集計し、100kmあたりの回数に割り出したレポートです。速度超過は走行データ数、急加速・急減速は回数となります。
	S020_急加速・急減速の多いドライバー	急加速・急減速の回数をドライバー毎に集計したレポートです。
Cariot見える化レポート	V001_登録データ一覧	デバイスに紐づく車両の登録データを一覧化したレポートです。最後にGPS取得をした日時もこちらで確認できます。デバイスと紐付いていない情報はこちらのレポートでは確認できません。
	V000_Cariotレポート一覧	Cariot標準レポートの一覧が確認できるレポートです。

■ Cariot標準レポートの説明

フォルダ	名前	説明
Cariot生産性向上レポート	P140_走行ステータス集計レポート	スマートフォンアプリ版ステータス毎の集計レポートです。事前にステータスの登録と、利用ユーザによるステータス変更が必要です。
	P130_取引先別の訪問回数	拠点と、それに紐づく取引先への訪問回数を集計したレポートです。事前取引先と拠点を登録した場合に利用できます。
	P060_滞在記録_01	登録した拠点へ滞在した開始時間、終了時間、所要時間を集計したレポートです。事前に拠点を登録した場合に利用できます。
	P000_日別車両稼働状況	今月と先月の日毎走行実績が集計されるレポートです。走行距離、最大連続運転時間、最大連続アイドリング時間などが確認できます。
	P010_最大同時稼働台数の推移(全社)	登録している車両のうち、1日のうちに同時に走行した台数を集計したレポートです。デバイスを取付けていない車両も1台としてカウントされます。
	P070_アイドリング時間の記録	アイドリング時間を集計したレポートです。
	P110_車両ごとの月間走行距離	毎月の走行距離を車両ごとに集計したレポートです。
	P120_日別車両予約状況	運行予定と実績を集計したレポートです。運行予定をご利用されていない場合、予約なし実績回数が加算されます。
	P050_出発記録・到着記録	登録した拠点へ出発・到着した時間の一覧レポートです。事前に拠点を登録した場合に利用できます。
	P081_駐車記録	駐車開始時間、終了時間、所要時間の一覧レポートです。事前にアプリケーションランチャーから「Cariot管理者ツール」→「スケジュール設定」の「Cariot__駐車イベント取り込み_定期実行」を開始してください。
	P020_車両稼働状況の推移(過去30日間)	過去30日の日別稼働台数の集計レポートです。
	P030_車両稼働状況(今月)	今月の日別稼働台数の集計レポートです。
	P040_車両稼働状況(先月)	先月の日別稼働台数の集計レポートです。
P090_平均燃費の推移	ドライバー×車両ごとの日別燃費推移の確認レポートです。車載器がOBD2の場合のみ利用できます。	
P100_ドライバー毎の平均燃費	ドライバー×車両ごとの日別燃費推移の確認レポートです。車載器がOBD2の場合のみ利用できます。	